



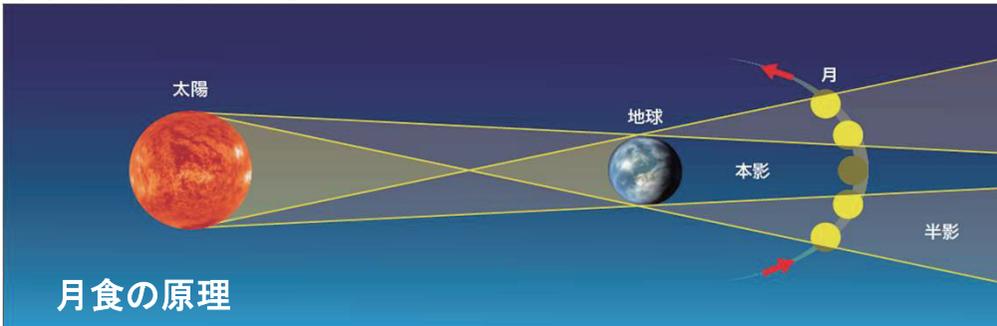
2026年3月3日 (火)

2026年いちおしの天文現象！

皆既月食の観察

月食は、地球の影の中に月が侵入し、月面に日照がなくなるために満月が欠けていくように見える現象です。皆既月食では月が地球の影にすっぽりとおおわれます。しかし、地球の影の内側でも地球の大気で屈折した赤色光により、ほんのりと月面が照らされます。

3月3日宵、全国で皆既月食が見られます。皆既月食が見られるのは2025年9月8日以来半年ぶりですが、次回の皆既月食は3年後の2029年1月1日になりますから、ぜひ楽しんで下さい。



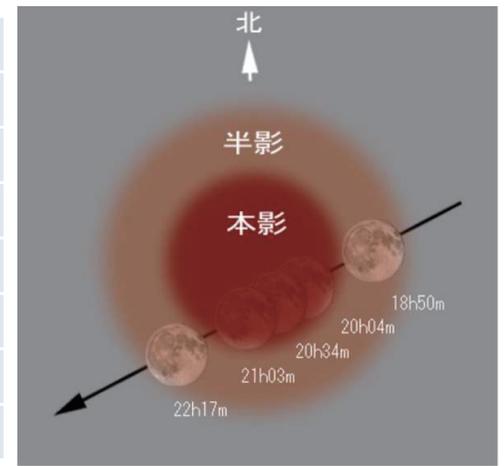
日本付近での近年・近い将来の月食

日付	月食の種類	備考
2022年11月8日	皆既月食	皆既中に天王星食が起こった
2023年10月29日	部分月食	日本で見られた軽微な部分月食 (食分0.122)
2025年3月14日	皆既月食	東日本で皆既後の部分月食のみ見られた
2025年9月8日	皆既月食	前回の日本で見られた皆既月食
2026年3月3日	皆既月食	今回の皆既月食
2028年7月7日	部分月食	東日本では月没帯食 (食分0.389)
2029年1月1日	皆既月食	全国で全過程が見られる
2029年12月21日	皆既月食	皆既の始まる直前に月没する月没帯食
2030年6月16日	部分月食	東日本では月没帯食 (食分0.503)
2032年4月26日	皆既月食	全国で全過程が見られる
2032年10月19日	皆既月食	全国で全過程が見られる

制作：佐賀市星空学習館 TEL 0952-25-6320

皆既月食の見え方(佐賀)

18時08分	月の出
18時16分	日没
18時50分	部分食の始まり
20時04分	皆既食の始まり
20時34分	皆既食の最大(食分1.2)
21時03分	皆既食の終わり
22時17分	部分食の終わり



皆既月食の観察

今回の月食は日没約40分後(佐賀)の、まだ薄明の強く残る夕空で始まります。月食の始まる18時50分は月の高さも8°と低く、東の低空のよく見えるところで観察しましょう。月が地球の影に入ると月が欠けたように見えますが、その境界はぼやけています。これは地球に大気があるため、地球の影の輪郭もぼやけているためです。月食はゆっくりと時間をかけて進行し、時間の経過とともに南に高度を上げていきます。

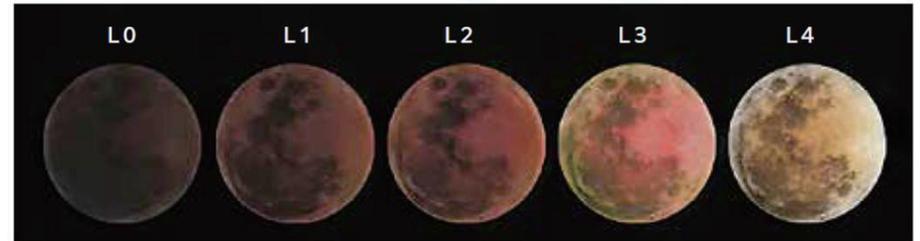
皆既月食になっても月は見えなくなることはなく赤暗くなります。この暗さの程度は月食毎に異なります。暗さの指標として「ダンジョンのスケール」があります。今回はどの程度まで暗くなるのか観察してみましょう。

皆既を経て、再び明るい満月に戻るのは22時17分頃です。

ダンジョンのスケール

皆既月食の明るさをL0～L4で表すもの。今回の皆既月食はどのように見えるだろうか？

- L0 非常に暗い月食。特に食の最大時には月はほとんど見えない。
- L1 暗い月食。灰色または褐色がかかった色。月の細部を判別することは難しい。
- L2 濃い赤色またはさび色の月食。中心の影は非常に暗く、本影の外縁は比較的明るい。
- L3 レンガ色の日食。本影の縁は通常、明るい灰色または黄色。
- L4 非常に明るい、赤銅色またはオレンジ色の月食。本影の縁は青みがかって非常に明るい。



3月3日 皆既月食観察会

【説明会】18時00分～ 【観察会】18時30分～22時00分

【対象】どなたでも 【参加費】無料(申込不要)

詳しくは当館ホームページをご覧ください。

<http://saga-hoshizora.fem.jp/>

